

弓道場存続を要請する嘆願書

高根沢町町長
加藤 公博 様

私たち栃木県弓道連盟高根沢支部は、新庁舎整備に伴う町民広場内公共施設のあり方委員会の間答申を受け、その中で弓道場の廃止が前提とされていることに深い懸念を抱いております。弓道場は生涯スポーツの場であり、また会員や地域スポーツ団体の活動の場として以下のように町民にとって不可欠な存在です。

(1) 生涯スポーツとしての重要性

弓道は生涯にわたって楽しめるスポーツであり、健康維持や精神的な充実を図る手段として大変重要です。弓道場は弓道教室を通してこの価値を町民に提供する場としての役割を果たしています。特に高齢者への普及は健康を増進し、医療費削減に寄与できる活動でもあります。

(2) 会員の活動の場として

弓道場は私たちの会員がスキルの向上や交流を図る場でもあります。近隣には同等の条件で利用できる施設は無く、遠方では準会員の中学生が通えない状況になります。この環境が損なわれることなく、継続していくことが望まれます。

(3) 文化と伝統の継承

弓道は日本の伝統文化の一翼を担い、これを後世に継承していくためにも、弓道場の存在は重要です。武道から学ぶことも多く、文化とスポーツの融合としての役割も果たしています。

(4) 地域社会との連携強化

高根沢支部は地域スポーツ団体として中学校体育連盟に登録・認可され、町の中学生も準会員として所属しており、今後も部活動外指導者が求められています。弓道場は指導者の育成と地域社会との交流や協力の場でもあります。その存在が中学生を含めた町のコミュニティ強化に寄与しており、これを継続することが望まれます。

(5) 新庁舎建設予定地の共存可能性

新庁舎の建設予定地が町民広場に決定しましたが、区画の端に位置する弓道場がその環境に適応できるよう、現施設のまま共存の可能性を十分に検討していただきたいと考えます。

このような理由から、私たちは以下の点を要望いたします。

1. 弓道場の存在価値を再確認し、その存続を強く支持する方針を採っていただきたい。
2. 弓道場が生涯スポーツの場として、また弓道教室や地域スポーツ団体を通して町民との協力の場として果たす役割を尊重し、引き続き現施設を整備・活用していく計画を策定していただきたい。

生涯スポーツや文化継承の観点から、弓道場が地域社会において一層の発展と結束に寄与できるよう、ご一考いただきますようお願い申し上げます。

栃木県弓道連盟高根沢支部
支部長 中泉 祐司
会員一同